

第3学年 外国語科学習指導案

日 時 令和3年9月4日(土)
子ども 3年

I 単元名

Unit 5 What do you like?
何が好き?
(Let's try 1)

＜授業の見どころ＞

好きなものをたずね合う言語活動を通して、相づちや繰り返しのよさを感じられるようにします。

II 研究について

1 テーマ

小学校外国語活動におけるやり取りの楽しさにつながる授業づくり
—会話を広げる定型表現の活用に焦点を当てて—

2 背景と目的

新学習指導要領において、「考えや気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する観点」(中学校外国語編)から、「話すこと(やり取り)」の領域が設定された。今の子どもたちには、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、他者との対話を通して新たな価値を生み出していくことが期待されている。

「話すこと(やり取り)」における中学年の発達段階について、樋口ら(2017)は、「短い固まりで意味を構成しているものや、定型表現など場面依存度が高く音声的に1つのユニットとして結合しているもので使用頻度が高いものから習得させることも望ましい」と述べた。また村端(2017)は、「学習の初期段階から定型表現を身につけることで、相互のやり取りの機会を増やし、英語を使うことができる土台を確保した上で、コミュニケーション能力を育成する」と主張した。言語習得につながる楽しいやり取りには、発達段階的にも扱い易い定型表現の活用が有効であると考えられる。

一方、平成31年度全国学調における中学3年の「やり取り」の正答率が10.5%だったことを考えると、「やり取りの楽しさ」が外国語科の「学力」にどうつながっていくかを探るためにも、子どもたちのもつ「やり取りの楽しさ」について、その捉えをより細かに調査する必要がある。

そこで本研究では、子どものもつ「やり取りの楽しさ」を明らかにした上で、定型表現を用いた「やり取り」による、「やり取りの楽しさ」への影響を明らかにすることを目的に、授業実践を行う。

3 ここまでの研究

(1) 子どもたちのもつ「やり取りの楽しさ」についての調査

2020年10月～2021年3月に、中学年の子どもたち220名を対象に調査をし、因子分析を行った。その結果、「やり取りの楽しさ」は次の3つに分類できることが分かり、それぞれ以下のように名付けた。また、○の項目の度合を尋ねることで、それぞれの楽しさの度合が測れることが分かった。

かかわる楽しさ	できる楽しさ	わかり合える楽しさ
○表情が豊かになるから	○英語ができるようになるから	○友達の好みが変わるから
○大きい声を出せるから	○もっと英語をおぼえたいから	○友達の気持ちがわかるから
○はずかしながら話せるから	○おぼえた英語を使えるから	○友達が自分と同じものが好きだとわかるから
○笑顔になるから	○英語でたくさん話せるから	○話したことに反応してもらえるから
○気持ちが素直に話せるから	○英語で話している相手の話がわかるようになるから	○自分のことを伝えられるから

(2) 子どもたちが授業で用いる定型表現についての整理

Let's try 1,2 及びその指導編、展開案(文部科学省)から、学習表現、Chants 等に含まれる表現、指導者が話すクラスルームイングリッシュの表現例を取り出し一覧表に整理した。そして外国語活動で扱われることの多い「やり取り」の場面ごとに、イラストを付けた定型表現シート(次頁参照)を作成した。非言語から言語への広がりをもつ「会話を広げよう」シート(図1)にまとめた。

(3) 第4学年における実践からの考察

2021年6月、場面ごとの定型表現シート(図2)の「たずね合い」編を用いて実践授業を行った。その結果、「できる楽しさ」に効果の傾向が見られた。また、その効果は、「定型表現を話した程度」には影響されないことがわかった。一人一人の目標や伸びを大事にすべきであると確かめられたとともに、「かかわる楽しさ」「わかり合える楽しさ」につなげるさらなる工夫の必要性が考察された。

4 参考文献

- ・樋口忠彦・高橋一幸・加賀田哲也・泉恵美子(2017)「小学英語指導法事典」教育出版,23
- ・村端佳子(2017)「小学校英語における教室内コミュニケーション能力の育成に関する提言—定型表現能力とインタラクション能力を中心として—」『宮崎国際大学教育学部紀要 教育科学』第4号,39-50

Ⅲ 単元の指導構想

1 単元について

- 子どもたちは、外国語活動を楽しみにしている。Unit1では気に入った国のあいさつで進んであいさつをし合う様子、Unit2ではジェスチャーをつけて気持ちを表す様子、Unit3でははっきりした声で数の言い方に言い慣れる様子が見られた。また、前単元の学習では、Do you like～?の表現を使って、あるものについて好きかどうかを尋ね合う活動を行った。子どもたちは活動を通して、友達のことを知ることができた楽しさを感じる一方、もっと多様な事柄について尋ねたいという思いをもった。英語表現の幅を広げたい思いや友達との関わりを深めたい思いが高まっている。
- 本単元は、色や食べ物、スポーツなどを話題にして、何が好きかを尋ねたり答えたりする単元である。「好きなもの」は、自分のことを伝えたり、相手のことを知ろうとしたりするときのごく自然な話題であり、それを尋ね合うことは、友達についての理解を深める一助となる。

本単元の言語活動は、「菅原学級ブック」を作成するために、互いの好きなものを尋ね合う活動である。前単元では、一つ一つの事柄について好きかどうかを尋ねたが、本単元では「そのカテゴリの中で好きなものは何か」を尋ねる。この活動では、尋ねられたカテゴリの中から自由に答えることができるため、相手の答えていることが分からないという場面も想定される。相手理解につながる気持ちのよい尋ね合い方の工夫として、ジェスチャーやうなずきの必要性を再確認できるとともに、相づちや繰り返しの良さに気付かせることができる。

- 指導に当たっては、次の二点に留意する。

一点目は、**会話の広がりについて見通しをもてるようにすること【手立て1】**である。子どもたちはこれまで、スマイル、アイコンタクト、クリアボイス、ジェスチャーといった非言語的なコミュニケーションや、会話の始まりや終わりにあいさつをすることの良さについて話題にしてきた。そこで、「会話を広げようシート」(図1)を用いて、あいさつを会話(やり取り)に取り入れられるようになった自分たちの成長を実感できるようにするとともに、やり取りにおける自分の目標を☆マークで記して視覚化できるようにしたい。この手立てによって、子どもたちは、会話を広げていくことへの見通しをもち、自らの学びの現在地を確かめることができると考える。

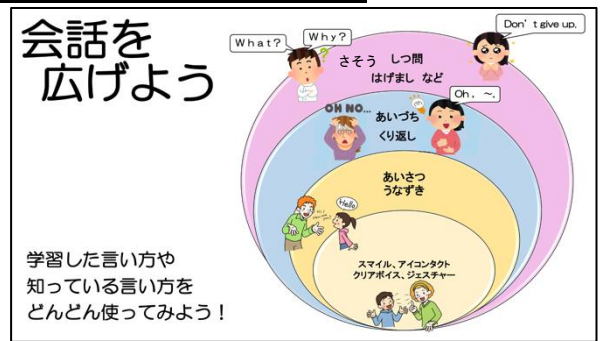


図1 会話を広げようシート

二点目は、**会話を広げる定型表現を用いた言語活動の設定【手立て2】**である。定型表現と言っても、この時期の子どもたちの実態から、取り上げるのは、相づちや繰り返しである。相手の話した内容に思わず反応したくなるような言語活動を設定し、その中で相づちや繰り返しをしている子どもの姿を価値付けたり、相づちや繰り返しのあるやり取りを体験した気持ちを交流したりする。この手立てによって、子どもたちは、相手の話に反応しながらやり取りをすることの良さを実感し、やり取りに相づちや繰り返しを取り入れるようになるだろう。そのようにして相互にやり取りをする機会が増えることで、やり取りの楽しさが向上するのではないかと考える。

<参考資料 図2 場面ごとの定型表現シート>イラストの一部は大分大学教育学部附属小 HP より

2 単元の目標及び評価規準

単元の目標			
互いの好きなものを知るために、好きな色やスポーツ、食べ物について、尋ね合うことができる。			
単元の評価規準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話しことやり取り	What () do you like? を用いて、色やスポーツ、食べ物について、何が好きかを尋ね合うことに慣れ親しんでいる。	互いの好きなものを知るために、ジェスチャーを交えたり、相づちを打ったり繰り返したりしながら、何が好きかを尋ね合っている。	互いの好きなものを知るために、ジェスチャーを交えたり、相づちを打ったり繰り返したりしながら、何が好きかを尋ね合おうとしている。

3 単元の指導及び評価の計画（全4時間）

時	○学習活動 働かせる見方・考え方	◆研究の手立て	評価			
			知技	思判表	態度	評価規準 (評価方法)
1	○Unit4 までの学びや班替えについての話から、もっと友達のことを知って仲良くなりたいという思いをもち、好きなものを尋ね合うという、単元の目指す姿を共有する。 ○様々なものの言い方を知り、キーワードゲームで言い方に慣れる。	手立て1見通し ◆Unit4 までの学びの振り返り ◆会話の広がりについての見通しの共有				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	○Chant やキーワードゲームをして、好きなものの尋ね方や答え方に慣れ親しむ。 ○ペアの友達の好きなものを予想して、好きなものを尋ね合う。 ○単元のゴールとして、尋ね合った好きなものを「菅原学級ブック」にまとめることを共有する。		や			What () do you like? を用いて、何が好きかを尋ねたり答えたりしている。 (行動観察)
3	○Chant をして、好きなものの尋ね方や答え方に慣れ親しむ。 ○ビンゴゲームをして、班の友達と好きなものを尋ね合う。 ○相づちを打ったり繰り返したりするよさについて話し合う。 ○班ごとに、「菅原学級ブック」作りで学級の友達にインタビューするテーマを決め、そのテーマで班の友達と好きなものを尋ね合う。	手立て2言語活動 ◆相づちや繰り返しをしたくなる活動の設定 ◆相づちや繰り返しをしている姿の価値付け ◆相づちや繰り返しを体験する機会の保障				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4 本時	目的に応じて考えを形成 互いの好きなものを知るための気持ちの良いやり取りにするために、相手の話に対して相づちや繰り返しをする。 ○学級のみみんなの好きなものを集めた「菅原学級ブック」を作るために、班の友達と協力して、学級の友達と好きなものをインタビューし合う。 ○単元の振り返りをする。	手立て1見通し ◆自分の目標の設定 手立て2言語活動 ◆相づちや繰り返しをしたくなる活動の設定 手立て1見通し ◆さらに会話を広げていこうとする思いの喚起	や	や		ジェスチャーを交えたり、相づちを打ったり繰り返したりしながら、何が好きかを尋ね合っている。(行動観察) また、尋ね合おうとしている。 (シート)

IV 本時の指導

1 目標

○ 気持ちよく会話を広げられるように工夫して、何が好きかを、尋ねたり答えたりして伝え合う。

2 評価規準

思考・判断・表現【話すこと[やり取り]】

・ジェスチャーを交えたり、相づちを打ったり繰り返したりしながら尋ね合っている。

主体的態度【話すこと[やり取り]】

・ジェスチャーを交えたり、相づちを打ったり繰り返したりしながら尋ね合おうとしている。

＜努力を要する状況の児童への手立て＞

うなずいたり首をかしげたりする非言語的な要素を想起させたり、一緒に相づちを打ったりする。

3 展開（4/4時）

段階	学習活動 ○発問	時間	◆研究にかかわる手立て 予想される子どもの反応	・留意点 【評価】
導入	1 あいさつ ・ 班の友達とあいさつをする。 2 ゴールのたしかめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">好きな○○をインタビューして、学級の友達ともっと仲よくなるう。</div> ・ 自分の目標をシートに☆印で記す。	5	手立て1見通し ◆前時までの学びや本時の目標を共有し、児童一人一人が、やり取りにおける自分の目標を設定できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">気持ちよく尋ね合いたいな。友達のこともっと知りたいな。</div>	・ 明るく楽しい雰囲気をつくる。 ・ 教育実習生など、菅原学級ブックを見せたい相手を想起させ、活動意欲につなげる。
	3 表現に慣れ親しむ ・ [Let's Chant] What do you like? 4 学級の友達に好きな○○をインタビューし、「菅原学級ブック」を作る ① 班の中で、インタビューする相手を分担する。 ② What () do you like? の表現で、学級の友達と好きなものをインタビューし合う。 ③ ②の活動を振り返って、困っていることや工夫したいことを話し合い、自分の目標を修正する。 ④ 修正した自分の目標の達成に向けて、学級の友達と好きなものをインタビューし合う。 ⑤ インタビューをしてわかった友達の好きなものを、「菅原学級ブック」のシートに書く。	5 25	手立て2言語活動 ◆思わず反応したくなるような驚きや発見があるように、本当に好きなものを自由に答えられるインタビュー活動を設定する。 ◆相手の話に反応して、気持ちよくやり取りをしている姿を価値付ける。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">へえ、○○さんは、○○が好きなんだ。○○って何だろう。</div>	・ 活動が不安なときなどは、班の友達と一緒に活動するなど、役割分担を工夫して良いことを伝える。 ・ 班で決めたテーマでの活動を終えた場合は、自分でテーマを決めて自由に尋ね合うこととする。 思判表 【話す[やり取り]】 〈行動観察〉
展開				
終	5 振り返り ・ 振り返りシートに、本単元で自分ががんばったことを記入し、発表する。 ・ 単元の学習を振り返り、What do you like? を使ってだれに何を聞いてみたいか考える。	10	手立て1見通し ◆児童のがんばりや伸びを評価し、本単元での学びを生かして、さらに会話を広げていこうとする思いを喚起する。	主体的態度 【話す[やり取り]】 〈シート〉 ・ 児童のがんばりや伸びを評価する。
末	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> 【振り返りの表現例】 ① 相づちや繰り返しをすることで、気持ちよくやり取りをすることができた。(かかわる) ② たくさんの人に尋ねて、学級のみんなの好きな○○がわかった。(わかり合う) </div>			
	6 学習後のアンケートに答える 7 あいさつ			

